

令和4年度 学校経営計画及び学校評価

1 めざす学校像

エンパワメントスクール(E S)の役割を十分に果たし、人間力を向上させ、自律し自立することで社会貢献できる人材を育成する

- 学びを大切にし、基礎基本の確かな学力の向上と、夢実現の発展的学力の養成。
- 規範意識・コミュニケーション力を身に付け、自己と他者を大切にできる人間育成と、生徒が安心・安全・満足できる学校。
- 自己有用感に満ち、社会貢献できる知識とスキルの習得。

2 中期的目標

1 成城高校がめざすE Sとしての成果をあげるための取組み

(1) E Sの基本である学び直し学習を着実にを行い、発展的学力や知識習得のための取組み

ア 「授業力向上プロジェクト」にて「主体的・対話的で深い学び」を実現するための取組みを行う。

すべての教科で「何をどのように学び」「何ができるようになるのか」を明確に伝え授業の実践に取り組む。

* 生徒向け学校教育自己診断における授業満足度令和3年度は72.9%、令和6年度に80%にする。(R1・63.2%、R2・76.8%、R3・72.9%)

イ ICTを活用した学びの充実(すべての普通教室でインターネットが繋がる環境と、タブレットを無線でつなぐ環境の整備)

* プロジェクター、タブレット等ICT機器の活用方法を一層研究し活用を進める。

生徒満足度 90%をめざす(R1・82.6%、R2・86.4%、R3・82%)

* 座学でのICT活用実施者割合を令和3年度は100%とし令和6年度まで維持する(R1・100%、R2・100%、R3・100%)

2 高い規範意識を持ちコミュニケーション力を向上させ、自分と他人を大切に、安全・安心で充実した学校生活を送れる学校作り

(1) 生徒が高い規範意識を持ち、充実した学校生活を送るための取組み強化

* 令和4年度保護者対象学校教育自己診断での「学校に対する満足度」の目標を80%にし、令和6年度には90%にする。

(R1、71.8%、R2、76.7%、R3、89%)

* 令和4年度生徒対象学校教育自己診断で、「学校へ行くのが楽しい」の目標を80%にし、令和6年度には90%にする。

(R1、69.9%、R2、71.5%、R3、62.8%)

* 総遅刻回数・欠席日数とも前年比各10%減を達成する。

(遅刻R1・28.2%、R2・なし、R3・なし 欠席R1・29.4%、R2・なし、R3・なし)

§ コロナ禍の影響で令和3年度の数値は比較対象にならない。

* 中退率維持 ゼロをめざす(R1・0.1%、R2・0.8%、R3・1.1%)

* 令和4年度、部活動加入率全体70%を目標、1年生80%にし、令和6年度全体の加入率80%をめざす(R1・62%、R2・58%、R3・58%)

(2) 挨拶の徹底と対人との会話力の向上をめざす。

* 日常の学校生活の中で、教員から積極的な声掛けを行い、令和4年度、100%の向上をめざす。(R3、生徒82.4%、保護者80.9%)

(3) いかなるいじめも許さない・見逃さない指導と、生徒の実態に合わせた生徒指導

ア 支援コーディネータを核とした支援委員会と、SC及び担任団を中心としたサポートチームの強化

イ いじめアンケートを各学期に実施し、情報収集と相談しやすい環境づくり

ウ 寄り添う心と丁寧な指導で、生徒の安全で安心な学習環境を維持する。不登校ゼロをめざす

3 進路保障

(1) 基礎学力を身に付け、発展的学力を充実させる。

ア 授業公開3回実施。教員相互の授業見学を積極的に行い、毎回レポートを提出。

イ 「主体的・対話的で深い学び」の探求・実践・充実

* 教育産業が実施する学力診断テストを用い生徒の学力を定点観測し学力向上をはかる。評価指標であるD3の割合を全体の10%以下にする。

令和6年度まで維持する。(R1・28%、R2・9%、R3・12.4%)

(2) 希望進路の実現をめざし、高いモチベーションを維持するための取組み

ア 進路指導部主導型の進路指導体制を構築し、卒業時進路未決定者0(ゼロ)の実現

* 入学当初の進路希望・夢実現に向けて、やる気にさせる取組みを実施

* 進路未決定卒業生率を令和4年度以降減少させゼロをめざす。(R1・4%、R2・17%、R3・5%)

イ 社会で役立つ資格等を取得するための取組みと、進学に向けた英語、数学、国語の進学講習の充実。

* 令和4年度の資格取得者・検定試験合格者数500名を目標とし、令和6年度まで維持する。(R1・603名、R2・437名、R3・444名)

ウ 系列のさらなる充実を図り、生徒のニーズに即した仕掛けで、夢の実現を支援する。

4 地域に根差し見守られ、地域に貢献できる学校づくり

(1) 令和4年度入学者選抜志願者確保

ア 「チーム成城」での組織的な情報発信

* 中学校訪問150校実施を組織的に取り組み強化しそれを維持する。(R1・218校、R2・32校、R3・162校)

* 学校説明会を年5回実施 参加者800名以上を目標とする。(令和3年度は生徒・保護者向け3回計436名)

* 令和4年度入試入学者の第一志望での入学者数を95%とし、令和6年度まで維持する。(R1・93%、R2・96.9%、R3・91.2%)

イ 地域に見守られ、地域とともに成長する学校づくり

* 文化祭・体育祭に合わせて1000名以上の来場者を維持する。(R1・1094名、R2・164名、R3・60名)

5 組織の活性化と人材育成

(1) 初任者を含む経験の少ない教員のスキルアップを図る校内研修を充実させる。

※相互の授業見学を積極的に行い、良好な人間関係と授業力向上をめざす。

(2) コンプライアンス意識の向上職務の効率化の取組み

(3) 危機管理体制及び保健・安全・衛生管理の徹底

(4) 職務の効率化の取組み ※年間時間外勤務 → 400h以内

【学校教育自己診断の結果と分析・学校運営協議会からの意見】

| 学校教育自己診断の結果と分析 [令和4年12月実施分] | 学校運営協議会からの意見 |
|---|--|
| <p><生徒> ○結果 ●分析</p> <p>○「授業はわかりやすい」が、向上 (73.2%→77.4%)</p> <p>○「学校に行くのが楽しい」が、向上 (62.8%→72.7%)</p> <p>○「先生の指導には納得できる」が、大きく向上 (44.9%→85.6%)</p> <p>●コロナ禍の状況が長く続いている中、社会生活・学校生活においては今までよりも規制が緩くなり、3年前までの生活リズムに完全ではないが戻りつつある。それが、生徒の心境にゆとりをもたらせ、学校生活に大きく影響したことでこの様な結果につながったと考えられる。</p> <p>●教員の熱心な会話による指導や新たな生徒指導の取組みの結果と考えられる。</p> <p>○「命の大切さや社会のルールについて学ぶ機会がある」が、向上 (86.3%→92.5%)</p> <p>○「いじめや私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」が、向上 (79.6%→94.3%)</p> <p>○「日頃から清掃活動にしっかり取り組み、校内美化に取り組んでいる」が、向上 (68.6%→83.7%)</p> <p>●コロナ禍の状況が長く続いている中で、引き続き命の大切さを学んでいる。また、新型コロナウイルス感染症防止対策の徹底が守られている。</p> <p>●教員がしっかり生徒を支えている結果と考えられる。</p> <p>●全体的に、全ての項目で数値は向上している。日々教員のきめ細かな指導が、生徒や保護者にも伝わってきていると大きく考えられる。また、生徒・保護者・教員間の人間関係構築ができており、信頼関係ができてきていると考えられる。</p> <p><保護者>○結果 ●分析</p> <p>○「子どもは、授業がわかりやすく楽しいと言っている」が、向上 (67.8%→70.9%)</p> <p>○「子どもは学校に行くのを楽しみにしている」が、向上 (75.1%→77.4%)</p> <p>○「学校はいじめについて子どもが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」が、向上 (83.7%→90.5%)</p> <p>○「学校は子供に生命を大切にす心や社会のルールを守る態度を養おうとしている」が、向上 (85.8%→91.1%)</p> <p>●家庭内で生徒が学校生活について保護者と話をよくし、しっかり伝えている結果と考えられる。(コロナ対応等)</p> <p>●全体的に、全ての項目で数値は向上している。「学校の授業参観や学校行事に参加したことがある」の数値がコロナ禍で大きく下がっていたが、今年度は大きく数値が向上した。保護者の方々が、学校での子どもの様子を見る機会ができたことで、学校への興味も高まった結果と考えられる。</p> <p><教員>○結果 ●分析</p> <p>○「学校として部活動の活性化に取り組んでいる」が、大きく低下 (62.8%→54.6%)</p> <p>○「学習指導の方法や内容について、教員間で連携し、工夫・改善を行っている」が、大きく向上 (71.5%→89.2%)</p> <p>●教員全体の授業内容の意識が高くなった結果と考えられる。</p> <p>●教員間の連携や教員と保護者の連携が今まで以上に図れていることで、その結果が「生徒・保護者のアンケート」の数値に反映されている。</p> | <p>第1回学校運営協議会 議事録</p> <p>1 日時 令和4年6月14日(火) 13:30～</p> <p>2 内容</p> <p>第1号議案 会長(議長)の選出と職務代理の指名</p> <p><事務局提案></p> <p>会 長:野入 尊子 氏</p> <p>職務代理:畠平 亨一 氏</p> <p>⇒賛成6・反対0により、議決</p> <p>第2号議案 令和2年度「学校経営計画・評価」について</p> <p><事務局提案></p> <p>令和2年度学校経営計画・評価について、別紙の通り報告</p> <p>⇒賛成6・反対0により、議決</p> <p><ご意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・いかなるいじめも許さない・見逃さない指導を今後も重点的に継続していってほしい。 <p>第3号議案 令和3年度「学校経営計画」(案)について</p> <p><事務局提案></p> <p>令和3年度学校経営計画(案)について、別紙の通り報告</p> <p>⇒賛成6・反対0により、議決</p> <p><ご意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒会活動で生徒会役員選挙を今年度から行うことは大事なことである。 ・カウンセリング入門という授業のなかで、無口な子がいたので文章で書かせてみたらたくさん書けていた。声を出すのが苦手な子はチャットのようなものならいける。その子にとってできる出し方をみつけていってほしいと思う。人前でほめられるのも嫌という子もいるが心の交流はできる。個々に支援・配慮が必要なのでその子にあった表出方法を見出せてほしいと思う。 ・マスクについては、外す外さないの選択肢をあててほしい。今の子は顔からは「はじめまして」の状態、顔の上の部分しか知らないのでは緊張するのではないか。 ・今までもマスクやパーカーを外せない子がいる。むしろコロナで時代が自分たちにおいてきたかと思っている。コロナで安心してきた子にとっては、自分がマスクを外せないということをこれから自認していくことになる。大学生の中にも人付き合いの中で、「マスクの下をみたい」というプロセスが加わっている。 ・マスクについては二酸化炭素中毒に気をつけてほしい。自分が苦しいということに気づけていない子もいる。 <p>【連絡事項】</p> <ol style="list-style-type: none"> 1、 本年度の行事予定について 2、 各分掌より 本年度の取り組みについて 3、 保護者からの意見書 4、 その他 <p><ご意見等></p> <ul style="list-style-type: none"> ・通信制を選ぶ生徒が多い。本当だったら全日制に通いたいが困難があってもいい。成城の先生はていねいに支援している。これを続けることで定員割れを防げると思う。 ・通信制に行くのは、落ちるのがこわいという思いがある。成城に行きたいが、倍率が高いのでという保護者の不安がある。失敗させたくない保護者が多い。挑戦させたい学校であってほしい。PTAのふれあい相談室などで保護者の気持ちをほぐしてほしいと思う。 ・中学校で行きづらい子が成城ならいけるようになってほしい。 <p>第2回学校運営協議会 議事録</p> <p>1 日時 令和4年10月29日(土) 11:00～</p> <p>2 内容</p> <p>第1号議案 学校経営計画進捗状況について</p> <p><事務局提案></p> <p>学校経営計画進捗状況について、別紙の通り報告</p> <p>⇒賛成6・反対0により、議決</p> |

<ご意見等>

・なし

第2号議案 各分掌・学年の取組み状況について

<事務局提案>

各取組み状況について、別紙の通り報告

⇒賛成6・反対0により、議決

<ご意見等>

・なし

第3号議案 スクールミッションについて

<事務局提案>

取組みの進捗状況について、別紙の通り報告

⇒賛成6・反対0により、議決

<ご意見等>

・私は公立高校出身で、学校生活は自由だった。受験も大切だが、それだけではないことを公立高校は謳ってほしい。

今日の文化祭の出し物のジェットコースターもすばらしい。先生も楽しそうに造っていた。そうすると参加した生徒も楽しい。すごくいいなあと思った。私も学生時代とても行事に頑張った。これが公立高校の良さだと思う。

・学校の役割は何だろうと考える。幼・小・中・高・大と関わっているが、幼稚園では欠席連絡をしないという保護者が増えている。幼稚園・小学校では、子どもが学校に行くのが当たり前、という意識も失われている。学校に行かない権利も認知されている。学校に行くことの楽しみを心の報酬にしてもらえたらと思う。

・社会の状況の変化とともにいろんな家庭が出てきている。学校は形を変えながら対応している。その分先生方に負担が大きくなってきている。その姿をみて子どもたちは「大人ってしんどいなあ」って思ってくる。先生方に楽しんでもらえたらと思う。また成城高校では就職希望の生徒が半分いる。「社会人としての心がまえ」「社会人としての基礎学力」が求められている。

・いじめが少ないということは、潜ってしまっているということにならないようにしてほしい。

第3回学校運営協議会 議事録

1 日時 令和5年1月25日(水)13:00～

2 内容

第1号議案 令和4年度学校経営計画の評価について

<事務局提案>

学校経営計画評価について、別紙の通り報告

⇒賛成4・反対0により、議決

第2号議案 令和5年度 学校経営計画について

<事務局提案>

各取組み状況について、別紙の通り報告

⇒賛成4・反対0により、議決

<ご意見等>

・生徒指導の内容について、学校との信頼関係ができているのがすばらしい。先生方は伝え方を工夫し、熱心にやっている。

・厳しいことで生徒を守っていたが、厳しさに対する生徒の声に学校が耳を傾けだしてきた。先生方にはがんばってほしい。

・志願者確保の内容について、中学での成城高校の知名度の無さが、定員割れにつながる。

中学側の問題もあるが、中学への情報発信が必要。また、中学生は、エンパワースクールに入学することで、学びなおしができ学力が伸びる生徒が増えるはず。

【連絡事項】

1、 スクールミッション、3学期行事予定、本年度の取組みについて

<ご意見等>

・学校教育自己診断について、回収率はどうなっているのか(生徒88%、保護者88.7%、教職員100%)。回収率によって数値の見方が変わるので、聞いて安心した。

・進路指導について、進路未決定の就職希望者については、若者サポートセンター等の「次の」連携機関の存在も意識してほしい。

3 本年度の取組内容及び自己評価

| 中期的目標 | 今年度の重点目標 | 具体的な取組計画・内容 | 評価指標 [R3年度値] | 自己評価 |
|--|--|---|---|---|
| 1 本校がめざすエンパワとしての成果をあげる取り組み | <p>(1) ESの基本である学び直し学習を着実にいき、発展的学力や知識習得ための取組み</p> <p>ア 授業力向上研修の充実</p> <p>イ ICTを活用した学びの充実</p> | <p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業力向上プロジェクト」を機能させ授業力向上目的とした研修の企画、立案、実施を計画的に行う。 ・観点別評価に対応した授業力向上研修を行い、教員相互の授業観察をより一層充実させる。 <p>イ・各教科で、ICTを活用した新たな仕掛けづくりを考え、全教科で共有し生徒の学ぶ意欲を更に充実させる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・オンラインチームを中心に、「学びの保証」を組織的に行う。 | <p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「わかる授業」「何が出来るようになったか」を実感できる授業」を実現し、生徒向け学校教育自己診断における授業満足度を令和4年度は80%に引き上げる。[72.9%] <p>イ・生徒向け学校教育自己診断において「授業などでタブレットやプロジェクター、コンピューターを活用している」の項目の満足度を90%にする。[82%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ICT活用実施者を90%以上を維持する。[90%] | <p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業満足度」が77.4%に昨年度より上がったが、目標には達していない。(△) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「授業などでタブレットやプロジェクター、コンピューターを活用している」が、82.6%に昨年度より上がったが、目標には達していない。(△) ・ICT活用実施者が89.1%に下がった。(△) |
| 2 高い規範意識を持ち、充実した学校生活を送るための取組み 自分と他人を大切に、安全・安心で充実した学校生活を送れる学校作り | <p>(1) 生徒が高い規範意識を持ち、充実した学校生活を送るための取組み</p> <p>(2) 挨拶の徹底と対人との会話力の向上をめざす</p> <p>(3) いかなるいじめも許さない・見逃さない指導と、人権教育の推進を、生徒の実態に合わせた指導</p> <p>ア 支援コーディネータを核とした支援委員会と、SC及び担任団を中心としたサポートチームの強化</p> | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教頭、首席が中心となり、初任者を中心とした教師力向上研修を継続実施。 ・規律指導と安全安心、学習指導の充実を柱に、生徒に寄り添い、支援していく姿勢を貫く ・懲戒指導と説諭指導をうまく使い分けて、更に生徒の寄り添った指導を行う。 <p>・生徒との対話を通じ、関係性を築くことでの安易な遅刻、欠席、早退の防止。</p> <p>・学校生活を最後まで支援する姿勢を貫く。</p> <p>・生徒会役員を選挙で選出し、生徒会を充実させ、生徒が中心となって、行事や部活動の活性化を図る。</p> <p>(2)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日常生活において、教師自らが挨拶を率先して行う。 ・挨拶週間等をつくる。 ・他者の前で話ができる機会を設ける。(スピーチコンテスト等) <p>(3)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・組織的対応に欠かせない情報共有のため職員会議には近々の事案・事象の報告を行う。 ・SC、SSW、CCとの外部人材を活用及び相互連携を図り、支援体制を充実させる。 | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校教育自己診断の保護者の「学校への満足度」80%をめざす。 ・生徒の「学校へ行くのが楽しい」を75%にする。[62.8%] ・学校教育自己診断の生徒項目「成城に入学してよかった」を80%目標とする。(エンパワメントスクールへ入学してよかった)[69.4%] ・総遅刻回数・欠席日数とも前年比各10%減を達成する。(令和3年度遅刻1221回、欠席2660日) ・中退率の維持 [1.1%] ・全学年生徒対象部活動紹介を継続実施する。(全員体験入部2日)1年生の部活動加入率80%を実現する。[58%] ・学校教育自己診断の生徒項目に「しっかり挨拶ができています」[58%]、保護者項目に「挨拶をするようになった」等、新たに設け、90%を実現する。 <p>ア・いじめが起因する不登校ゼロをめざす。</p> | <p>(1)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・保護者の「学校への満足度」91%で達成できた。(○) ・生徒の「学校へ行くのが楽しい」が72.7%に昨年度より上がったが、目標には達していない。(△) ・生徒の「成城に入学してよかった」が76.6%に昨年度より上がったが、目標には達していない。(△) <p>(今年度エンパワメントスクールへ入学してよかった 76.6% (○))</p> <ul style="list-style-type: none"> ・総遅刻者数；2004回 総欠席者数；2945回 (前年比 遅刻 1.6%増 欠席 1.1%増 コロナの影響で、出停の生徒が多く比較対象外) (△) ・中退率は、0.3% (2名) (△) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活動加入率が57% (△) ・生徒の「しっかり挨拶ができています」が、95%で達成できた。(○) ・保護者の「挨拶をするようになった」が、82.6%で達成できなかった。(△) <p>ア・いじめが原因での不登校生徒はゼロ (○)</p> |

| | | | | |
|-----------|---|--|--|--|
| | <p>イ いじめアンケートを各学期に実施し、情報収集と相談しやすい環境づくり</p> <p>ウ 人権教育の推進</p> | <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒集会等において常に学校の姿勢を訴えていく。 ・いじめアンケートを必要に応じて随時行い情報収集に努める。(定期的には年間3回) <p>ウ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・あらゆる教育活動を通じて、人権教育を計画的・総合的に推進する。 | <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・いじめの未然防止の観点から生徒向け学校教育自己診断における「先生はいじめや私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」を令和4年度90%とする。 [79.6%] ・いじめアンケート3回実施 ・学校教育自己診断の項目に「人権について学ぶ機会がある」を新たに設け、80%を実現する。 [82.3%] | <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒の「先生はいじめや私たちが困っていることがあれば真剣に対応してくれる」が、94.3%で達成できた。(○) ・いじめアンケート3回実施した。 ・生徒の「人権について学ぶ機会がある」が、93.4%で達成できた。(○) |
| 3 進路保障 | <p>(1) 基礎学力を身に付け、発展的学力を充実させる取り組み。</p> <p>ア 公開授業・研究協議を充実させた授業改善。</p> <p>イ 「主体的・対話的で深い学び」の探求・実践・充実</p> <p>(2) 希望進路の実現をめざし、高いモチベーションを維持するための取り組み</p> <p>ア 進路指導部主導型の進路指導体制構築</p> <p>イ 社会で役立つ資格等を取得するための取組みと、進学に向けた英語、数学、国語の進学講習の充実。</p> | <p>(1)</p> <p>ア・研究授業、公開授業、授業見学を計画的・組織的に実施。各学期に1度</p> <p>イ・教育産業が実施する学力診断テストを継続し、生徒の学力を定点観測し、生徒のモチベーションを上げるとともに、教員のスキルアップの材料とする。</p> <p>ウ・大学と連携を図り「主体的・対話的で深い学び」の校内研修を実施する。2回計画</p> <p>(2)</p> <p>ア・計画的な進路指導と、保護者懇談等を通じての情報提供を積極的に行う。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「大学・短大進学」、「専門学校・看護医療進学」「公務員・一般就職」の3つの係に担当を明確化し、学年団への指導と進路希望別に生徒への直接指導を行う。 <p>イ・卒業時に英検3級程度の力をつけさせる(積極的にGTECを導入) 1年生は全員必須またそのための学習の機会を設ける。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・生徒・保護者への周知・指導強化 | <p>(1)</p> <p>ア・生徒向け学校教育自己診断における授業満足度を80%にする。 [72.9%]</p> <p>イ・学力判定指標D3の割合を全体の10%以下にする。[12.4%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員研修参加率95%を実現する。 [90%] <p>(2)</p> <p>ア・保護者の学校教育自己診断における「学校は将来の進路や職業について、適切な指導を行っている。」については90%を目標とする。 [83.5%]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・卒業時進路未決定者0(ゼロ)実現 <p>イ・令和4年度2級程度2名、準2級程度15名、3級程度50名を実現。 [2級0名、準2級8名、3級14名]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資格取得者・検定試験合格者を600件以上にする。 [444件] | <p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業満足度が77.4%に昨年度より上がったが、目標には達していない。(△) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学力判定指標D3の割合が全体31.8%に上がった。(△) ・外部の研修は中止し、校内での研修を実施。コロナ禍ではあったが、参加率が90.4%(△) <p>(2)</p> <p>ア</p> <p>「学校は将来の進路や職業について、適切な指導を行っている。」が92.1%で達成できた。(○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・進路未決定者は2名 (△) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2級程度0名 準2級程度4名 3級程度17名 (△) ・資格取得者、検定試験合格者514件 (△)1月末 |

| | | | | |
|-----------------------------------|--|---|---|---|
| <p>4 地域に根差し見守られ、地域に貢献できる学校づくり</p> | <p>(1) 令和3年度入学者選抜志願者確保</p> <p>ア 「チーム成城」での組織的な情報発信</p> <p>イ 地域に見守られ、地域とともに成長する学校づくり</p> | <p>(1)</p> <p>ア 「チーム成城」での組織的な情報発信</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校訪問を維持し、本校の実践内容を広く知ってもらう。 ・学校説明会や地域における説明会への管理職を中心に組織的に取り組み、経験の少ない教員にも経験を積ませる。 <p>イ ・地域の諸機関・事業所との交流・連携</p> <ul style="list-style-type: none"> ・文化祭・体育祭の地域等への呼び掛けを一層強め、内容の充実を図る。 | <p>(1)</p> <p>ア ・中学校訪問 150 校実施を組織的に取り組む。 [令和3年度 162 校]</p> <ul style="list-style-type: none"> ・学校説明会で、中学2・3年生徒・保護者・中学校教員等を5回開催し、計 800 名の参加を集める。 [生徒・保護者向け 3 回 436 名] ・塾経営者への学校説明会 1 回 ・中学校進路指導委主事向け説明会 1 回 [塾 8 名、進路主事 8 名] <ul style="list-style-type: none"> ・令和4年度入試入学者の第一志望での入学者数をアンケート調査実施。95%を目標 [91,2%] <p>イ ・広報活動の充実。 成城ニュースを積極的に発行し、玄関前に掲示するとともに、了解の得られた地域や中学校へ掲示のお願いをする。 [101 号] HPの充実</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域の祭り、自治体の催し物への積極的参加。 ・文化祭・体育祭に合わせて 1000 名以上の来場者を迎える。 [文化祭 60 名] | <p>(1)</p> <p>ア</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学校訪問は、156 校実施。 (○) ・学校説明会 中学2・3年生徒・保護者・中学校教員等対象を5回開催し、計 669 名の参加。 (△) 塾経営者への学校説明会 1 回実施 中学校進路指導主事向け説明会 1 回実施 塾 10 名、進路主事 8 名参加。 (○) ・入試入学者の第一志望での入学者数アンケート調査が 91.5%。(○) <p>イ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・成城ニュースを 103 号発行 (○) ・地域の敬老フェスティバルに、ダンス部・吹奏楽部が参加 ・校内行事は、体育祭・文化祭実施。 文化祭・体育祭で保護者 1 名のみ限定来場者数は 578 名 (△) |
| <p>5 校内組織の活性化と人材育成</p> | <p>(1) 校内組織の活性化と職務の効率化の取組み</p> <p>ア 初任者を含む経験の少ない教員の教師力向上。</p> <p>イ コンプライアンスの意識を高め徹底する</p> <p>ウ 危機管理意識・防災教育や保健・安全・衛生管理意識を高め、校内体制を組み取り組む。</p> <p>エ 時間外勤務を軽減させる</p> | <p>ア ・「成城みらいプロジェクト」を充実させ、未来を見据えた人材育成と、新たな取組みへ着手する。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業見学週間の充実。 ・経験年数の浅い教員が、経験年数豊富な教員の授業見学を実施。各学期に 1 度 <p>イ ・会議等において、不祥事の防止、個人情報の適正管理、職場のハラスメント防止について周知</p> <p>ウ ・校内においてマニュアルを作成し、全教職員に周知・徹底する。</p> <p>エ ・職務が勤務時間内に終わるように、効率的に取り組む。</p> | <p>ア ・学期に 1 回の教頭・首席が中心となり教員のスキルアップをはかる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業観察用紙提出数目標 100 枚とする。[113 枚] <p>イ ・不祥事、個人情報の漏洩、職場のハラスメントの事象を 0 件にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・万が一事象が発生した時は、直ちに管理職に報告することを周知徹底する。 <p>ウ ・年間を通じて 1 回研修を実施する。</p> <p>エ ・年間を通して時間外勤務を 400 h 以内にする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・計画的に年次休暇・振替休暇の取得をする。 | <p>ア ・教員のスキルアップ研修を 3 回実施。 (○)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業見学週間を 2 回設けて実施し、授業観察用紙が 143 枚の提出があった。 (○) <p>イ ・周知徹底し、0 件。(○)</p> <p>ウ ・マニュアルを作成し、全教職員に周知・徹底できた。 臨時休業等に役に立った。(○)</p> <p>エ ・時間外勤務が年間を通じて 400h を超える教員が複数出た。 (17 人/62 人) (△)</p> |